



あったかハートなお手紙

てがみ

22



～未来をつくる 素敵な山内小学校のみなさんへ～

去年の3年生（現4年生）のテープアートに続き、校庭の白い壁に、とても大きな絵が出現しました。思いがつながって完成した5枚の壁画。今日は、その完成物語を書いてみます。

【大きな白い壁出現！…残念？ それとも…】

校舎C棟の工事が始まったのは去年の5月です。白い壁（仮囲いといいます）が校庭を仕切り、運動スペースは半分以下に。この時、どんなことを思ったか…。

A「あ～あ、運動場がせまくなって…残念…」

B「おっ！ めちゃくちゃ大きなキャンバス（画用紙）出現！」

もちろん、Aも思いました。でも、マイナスなことをプラスに！ 強く思ったのはBです。せっかくのチャンス。このキャンバスを使って、何かしたい！ 前向きに考え、行動することに…。この心のもち方、考え方は、今の、コロナのなかで、何を思い、何を考え、どう進んだらいいのか、それを定めるヒントになることかもしれませんね。

【思いがあれば…人が人をつなぐ】

ここからは、やってきたことを書いてみますよ。去年の5月から7月のことです。

- ①横浜美術大学が、仮囲いアートを何度かしてきたこと（横浜市庁舎他）を知る。
- ②横浜美術大学に行って、「力を貸してほしい！」とお願いする。「力貸します！」とお返し！
- ③横浜市教育委員会に「アートにかかるお金が出ないか」とお願いする。「でない…」と返事。
- ④仮囲いアートをやりたい！ でもお金が…。⇒ 森田建設さんが「うちがなんとかします！」と。ここでは書きませんでした。教育委員会でもかなり話し合ってくれました。さみしい白い壁より、子どもたちの絵に彩られた壁の方がいい。でも…。そんな中での森田建設さんからのあたたかな言葉でした。※森田建設はC棟の工事をしてくださっている会社です。

【バトンはつながれる…】

ここからは、校長先生の手をはなれ（去年の）1年生と6年生の先生と子どもたちの活躍です。キャンバスは5面あります。それぞれにテーマを決め、1年生に分かりやすい言葉で示してくれたのは6年生。そのテーマに沿って、1年生が絵をかきます。「山内のまち」「友だち」「自然」「宇宙」「スポーツ」。100をこえる絵がかかれました。その絵を横浜美術大学の方々が、パソコンに取り込みます。そしてテーマに合うように色や配置を考えて、作品の完成です。そのデータは、森田建設さんを通してプリント業者へ。

【みんなの登校を待っています!!!】

そして5月21日。いろいろな人の思いが重なり、つながって完成した壁画。あったかハートの学校を飾るにふさわしい壁画が完成しました。学校再開後、みんなとの再会を祝福するように…。登校 待ってるよ!!!

